



火あそびしません
(光台寺保育園)

12月定例会議

P3 補正予算
P5 7人が問う
P12 移転延期

年頭の あいさつ



多良木町議会
議長 長山 昇

新年明けましておめでとうございます。
輝かしい新春を迎え、町民の皆様に議
会を代表して、心よりお慶びを申し上げ
ます。
皆様方には、日頃より議会に対しまし
て温かい御支援と御協力を賜り、心から
感謝申し上げます。

さて、「一年の計は元旦にあり」とは使
い古された言葉ですが、年が改まるとい
う一つの区切りの大切さを表している
と思います。

昨年と今年は、時間にすれば一瞬の違
いに過ぎませんが、刻一刻と変化し続け
る環境の中で、私たちは、ともすれば目
先のことにとらわれがちであります。

だからこそ、この区切りの時に、じつ
くり自分というものを振り返ったり、周
囲の状況にも目を配りながら、新年の計
画を立ててみることは大変重要なことだ
と考えています。

本町におきましても、目まぐるしく変
化する社会情勢や住民ニーズの多様化に
対応し、町民の皆さまが、この町に住ん
で良かったと実感し、よその人たちには、
多良木町にぜひ住みたいと思わせるよう
な地域づくりへの政策が行政に課せられ
た大きなテーマだと考えております。

議会においても、より良い政策を導く
ため、活発な議論と皆さんの声を的確に
町政に反映させるように、これからも議
員一同、一生懸命、努力を続ける決意で
あります。

どうか本年も、一層の御指導と御協力
を賜りますようお願い申し上げます
結びに、今年の干支は亥（い）年でござ
います。

「勇気と冒険」。イノシシが象徴する
のは、そんな言葉だと言われています。
崩れない信念と頑固な意志を持ち、何
事に対しても全力で臨み、あらゆる課題
を解決できる年にできればと思います。

本年が皆様にとり
まして、幸せ多い
年でありますようお
祈り申し上げ、新年
の御挨拶といたしま
す。



円を に助成!!

平成三十年度 十二月定例会議は四日から十一日までとし、報告・
同文議決・条例等各一件・補正予算五件を審議し可決した。
一般質問は七人の議員が執行部の考えを質した。

入学祝い金 中学生7千円・小学生5千 31年4月入学予定者へ今年度中



平成30年度 一般会計歳入・歳出
それぞれ731万6千円を追加して
予算総額71億747万8千円とした

一般会計追加補正

(千円切り捨て)

林道施設災害復旧費 ……	1,441万円	リサイクル委託料 ……	158万円
口の坪団地建設工事 ……	1,230万円	障がい者福祉関係費 ……	134万円
障がい児通所支援事業 ……	811万円	地方バス路線維持費補助 ……	126万円
職員給与改定等に伴う増額 ……	621万円	財産管理費（里道3ヶ所） ……	111万円
介護保険関係費 ……	397万円	小・中学校入学祝い金 ……	90万円
後期高齢者医療費 ……	257万円	指定管理候補者選定関係費用 ……	5万円

報 告

1. 平成29年度財政健全化比率修正

将来負担比率			
修正前	53.5	修正後	54.2

2. 定期監査報告

3. 指定管理者の監査結果

あいあいスポーツクラブたらぎ

※詳しくは多良木町役場ホームページ
(<http://www.town.taragi.lg.jp/>)
まで

特別会計補正の金額と 主な理由は

- 国民健康保険は保険給付費増のため
…………… 2,993万5千円
- 下水道事業は人事異動・給与改定のため
…………… ▲395万6千円
- 介護保険は保険給付費増のため
…………… 3,025万8千円
- 後期高齢者医療は保険料還付金増のため
…………… 21万4千円

要 望 書

多良木高校施設設備利活用については、5月に球磨支援学校高等部の移転計画が表面化しましたが、保護者一同からの移転反対の要望書が県教育委員会等に提出されるとともに、球磨人吉管内各市町村長宛にも意見書が提出されております。

また、町が計画している中学校新築移転につきましても、町民の理解が得られていない状況です。

いずれの計画も、町内既存施設等の移転若しくは一部移転であり、多良木高校閉校後の喪失感や経済的損失を補うものではありません。

多良木高校閉校後の施設設備の利活用については、町長は就任直後より「教育研究の場として残したい」と言われており、20年後30年後の多良木町のコミュニティー・スクールを考え、慎重に判断すべきであると考えます。

その為に、早急に結論を出すのではなく、多良木町や球磨人吉地域の活性化をどう創り出していくのか、町民や関係団体を含めた幅広い意見の集約が出来る委員会を設置し、検討していくことを要望いたします。（要旨記載）

高校活性化協議会 会長 味岡 峯子

特別委員会の設置について

賛成討論

久保田武治 議員

中学校移転も含めて町民への説明も不十分であり、幅広く意見を聴く場を設けることは当然である。

豊永 好人 議員

移転について13回も協議されているが、会議録がない事や現中学校の耐力度は基準を満たして移転計画は延期されている事。

高橋 裕子 議員

議員は議会活動の中で町民の声を聞く事が務めであるので町民の声を集約する場は必要である。

反対討論

源嶋たまみ 議員

中学校新築移転は今、県との協議中であり、この状況下で他の利活用を検討すべきでない。

魚住 憲一 議員

要望書の中に町民に理解されていないとあるが、町長は町広報紙に説明を掲載している。

中村 正徳 議員

本件については、総務産業委員会の中で意見が分かれているので採択とせず継続とすべき。

【採決結果】 賛成 6 ・ 反対 5 で採択

林 田	中 村	瀬 崎	山 中	魚 住	源 嶋	高 橋	久保田	宇 佐	豊 永	坂 口
×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○

《 その他の皆さんからの要望 》

区 分	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	備 考
要望書	県道中河間多良木線に係る久米5区（堀川・野添地区）の一部道路改良工事に関する要望	久米5区区長 北崎 衛 外8名	採 択
要望書	黒肥地1区堀馬屋生活道路拡幅についての要望書	落合睦男 外23名	継続審議

林田 俊策 議員



Q 機構改革・課の再編はどうする

A 次年度にかかる

質問 課の再編の意義と必要性は。

町長 十一年間変わってなく将来に向け住民サービス向上に向けてやる。

質問 現在不都合があるのか。

町長 「行政需要」の中で各課を横断連携して「オール多良木」で臨まなければならない事業が多くなってきた。

質問 進捗状況は。

町長 係長を中心にプロジェクトチームのボトムアップでやってきた。今、課長会で再度検討している。



どうする課の再編成

質問 今後のタイムスケジュールは。

松本総務課長 当初一月までは改革案をまとめるつもりであったが機構改革案と行政改革をあわせ次年度にかかると思われる。

質問 予算の概要は。

町長 十二月までを各課からの要求期限とし施政方針と総合戦略を踏まえ二月中に予算が固まる。

質問 子育てに第三の矢はあるのか。

町長 現在郡市の中ではトップクラスの支援を行っている。子育て世代の住宅支援や奨学金制度を設け将来地元で就業する者に半額・



全額免除等も考えられる。

質問 何を目指す予算と名づけるのか。

町長 「トップランナーを目指す」予算としたい。

Q 新年度予算の概要は
A 2月中に予算が固まる

7人が問う! その他の 質問



源嶋 たまみ 議員 (6ページ)

・観光について

中村 正徳 議員 (7ページ)

・感染症予防について

久保田 武治 議員 (8ページ)

・槻木トンネルについて
・体育館へのエアコン設置について
・独自の「町政アンケート」の声について

豊永 好人 議員 (9ページ)

・ふれあい交流センターえびすの湯について
・町長の政治姿勢について
・町有地の活用について

宇佐 信行 議員 (10ページ)

・高齢化対策について

坂口 幸法 議員 (11ページ)

・公園整備について
・2025年開催決定の大阪万博について

源嶋 たまみ 議員



Q 予防接種の周知は

A 回覧・防災無線で

東健康・保険課長 今年10月、緊急に風疹の抗体検査を無料で受けられるように回覧した。

質問 おたふく風邪に罹患すると聴力障害をおこす危険性が指摘されている。子供の将来を犠牲にしないよう、ワクチンの無料化をすべきでは。

東健康・保険課長 ワクチンの接種の是非は、議論中で郡市では助成を行っている。今後は慎重に考えていく。

質問 インフル予防接種の申込みは「余裕をもっての締め切り」・「随時受け付け」はできないか。

東健康・保険課長 予防接種の申込みは、直前まで防災無線周知を行っている。取り止めのない事態とならないよう、9月上旬で申込みを終了している。

質問 公費で行う接種と任意で受ける接種があるが、助成があることを知らない人が多いのではないか。接種歴の無い人や助成対象者への呼びかけはどのようにされているのか。



これで安心

Q 放送時間の変更は

A 苦情に対応

質問 現放送体制と今後の体制について、朝6時と夜9時の放送を止めた経緯は。

リズムをとられている町民の為に再開することはできないか。

松本総務課長 屋外放送施設近隣の方々から苦情があったので、現在の状況で対応している。

質問 放送を頼りに生活の

松本総務課長 31年度、32年度にかけて、防災行政無線のデジタル化を予定している、音量が個別に調整が可能となる。

Q 教育の取り組みは

A 「米百俵の精神」で

質問 オンライン英語教育の評価はいかがか。また、来年度への取り組み案は。

佐藤教育長 県内では初めての取り組みで、成果が上がっていると判断している。予算は、約800万円と

いる。「米百俵の精神」で教育にあたりたい。

質問 放課後子ども教室の利用状況と学校・教育委員会・放課後子ども教室のスタッフとの話し合いの場は設けているのか。

今井教育振興課長 利用状況は、多小36名・久米小36名・黒小55名の子どもたちが利用している。また必要に応じて学校を訪問し、関係者と協議している。



中村 正徳 議員



Q 当初予算 やめる決断・見直す勇気を

A 町にとっていい形の着地点を

質問 31年度当初予算の編

成時期であり、地方創生推進交付金事業は、31年度が最終年度であるが、来年度も取り組まれるのか。

松本総務課長 この事業は主に企画観光課・農林課が担当し、横展開タイプで取り組んでいる。最長3年間申請が可能で、米のブランド化事業は「九州のお米食味コンクール」自治体部門一位になった。この成果を基に町が全国的に知られるような施策に取り組んでいく。

質問 効果が見込めないものについては、効果検証を行い、やめる決断・方向性を見直す勇気が必要だと思うが。

町長 三極による和紙の製造販売・かやの生産販売は、雇用を生み出す産業としては難しい。最終年度となり、

計画・実行・評価・改善、このサイクル検証を行い、町にとっていい形での着地点を求めている。また、

総まとめの時期になるので、統括マネージャーとの一括契約から、各アドバイザーとの直接契約へという判断も考えている。

質問 「えびすの湯」老朽化による修繕代の増加、潜在的な赤字の解消に向けた改善策は。

黒木町民福祉課長 修繕料は31年度の見積書を作成依頼中、高圧機器等の経年更新作業・消防設備等改修で概算合計300万円を計上予定。赤字改善策については

予算計上の計画はない。経費節減対策等をプロジェクトチーム等を中心に検討を続け、町長に提案する。予算への反映は時間をいただきたい。

Q 税金のコンビニ納付の取り組みは

A 状況を見て検討

質問 現在、町民税・国保税・介護保険料・各種使用料等含めて現年度・過年度合わせた滞納額が約2億円ある。税金は町の貴重な財産であり、キャッシュレス時代になりつつある中、納付場所の選択肢を高める事も収納率向上に繋がると思うが、コンビニでの納付に

平川税務課長 県内45町村のうちコンビニ収納の実施団体は9団体である。1件あたり60円前後の収納手数料がかかるため、費用対効果検証が必要で、今後検討していきたい。



老朽化が進む「えびすの湯」

久保田 武治 議員



高すぎる国保税の引き下げを

今後の課題としたい

Q

A

質問 国保税、全国の滞納者が289万世帯、本町でも204世帯。加入者の貧困化や高齢化が進み、高すぎる保険税に悲鳴が上がっている。町長の認識は。

町長 国保税が低所得者の方々には非常に高いと認識している。

質問

本町では今年度は下がったがそれでも高い。これまで繰り入れてきた2千万円を入れてさらに引き下げができないのか。

町長 国保の運営主体が県に変わったので、繰り入れについては研究課題としてい。

質問

国保の人間ドック助成を74歳までに広げて、疾病の早期発見や治療に結び付け、医療費を減らせれば保険税を安くできると思うが、

Q

職員採用の公平・公正性は

A

客観的評価で公正確保

質問

職員の採用については公平・公正になされているのか。本町の職員任用規則によると、試験選考委員会を置くとなっているが、メンバーは何名でだれだろうか。

町長 二次試験の選考委員は副町長、教育長、私3名

他町村の助成状況は。

東健康・保険課長 球磨村は助成していないが、他町村では74歳までとなっている。本町は30歳から70歳までの助成である。

質問 町長はどのようにお考えか。

町長 74歳まで助成されていることは初めて聞いた。担当課と協議を試みたい。



Q

「子ども食堂」に町の支援を

A

何ができるか検討

質問

居食充研究会の方々による「子ども食堂」が開かれているが、どのように受け止められているか。

町長 行政ができないことをボランティアでやって頂いていることに心から感謝している。

質問

ボランティア、食材や募金、町民への広報など要望されているが、具体的な支援ができないか。

白濱子ども対策課長

利用できる施設がほしいとの要望もあり、支援の一つとして公民館の利用料を減免している。

町長 何ができるかシステムづくりを含めて考えてみたい。

質問

規則によると、町長は第一次・二次試験の結果、判定基準に基づき最終合格者を決定するとなっているが、その際に町長の思惑や裁量が入り込む余地はないかどうか。

町長 私の裁量が入り込む余地はなく、客観的な評価である。



「子ども食堂」に支援を

豊永 好人議員



質問 農業振興について本年度から実施をした振興作物機械等導入支援事業の評価と今後の方向性は。

Q 農業支援事業の方向性は

A 一定の節度をもって



久保農林課長 申請農家数は14件・総事業費2千329万4千円・補助申請額509万8千円であった。導入機械等については、国の補助事業の採択が厳しい中で担い手農家の生産向上と経営の安定化に寄与できたと評価をしている。

関係農家には資料配付をしたが、事業の周知期間が足りなかったという農家の声も聞いているので、今後は早期の対応に努める。

町長 3年間実施をしたいと思っている。これは一般財源であり、一定の節度を持ってこの業務にあたる。

Q 少子化対策は

A 各課連携で



効果が見られた補助事業

白濱子ども対策課長 課題の認識・対策検討・情報共有を不定期で行っている。今後、課題の検証・対策の具体化を進め、保護者の不安・悩みを軽減し、子ども

質問 少子化対策について、「出生率の改善を図るには各課連携」と答弁をされているが、どのような連携をされているのか。

質問 高校跡地利用の県との会議録について9月の定例会議の中で「会議録は頭の中で」と答弁されているが、会議録はお互いに作成していないのか。会議録が存在した場合、誰が責任を取るのか。

Q 「会議録」がある場合は
A 町長自身が責任をとる

町長 9月議会以来、13回にわたり質問を受け、情報を提供しており、会議録があった場合、私が責任をとる。



もたちの支援体制を整えて行く。



子育て支援は、各課連携で

宇佐 信行 議員



Q 健全財政の基本的方針は

A 有利な起債を活用して

松本総務課長

29年度末で

財政調整基金が10億7千400万、減債基金10億8千500万、その他5億8千500万、運用資金として3億3千600万、全体で30億8千100万である。対して地方債の残高は58億1千600万程残っていて償還残高の方が上まわっている状況である。平成20・21年度がピークだったが少しずつ減っている。次年度に防災無線のデジタル化の大型事業も控えているので、有利な起債を活用していく。

町長 大型事業をすると当然借金は増え、交付税で補てんされてきたが、国も財政が厳しい中、地方交付税減の場合、どうするのか今後の課題として考えていく。



質問 「機構改革をしたい」としていたが現状と今後の方向は。

松本総務課長 現体制は平成19年4月のままである。

行政改革推進法を背景として組織のスリム化、人件費

Q 久米地区にトイレ設置を

A 適当な場所・条件がそろえば

質問

百太郎溝と幸野溝との間の久米地区にはトイレがない。住民の方より設置の要望があるが。

松本総務課長 条件として

「上・下水道が近くにあり」「土地の提供」「補助事業」があれば考えられる。

Q 庁舎内の機構改革は

A 課長会で再度検討を

の抑制が主な目的であった。人口減少と高齢化が進む中、将来の住民サービスの向上にむけた組織づくりが必要であり、現在プロジェクトチームの中で検討している。主幹・係長9名・財政担当

1名の計10名で、各課の課題・検討内容・結果を一覧表にし、協議を進めた。

町長 次に課長会の段階で課の統合にこだわらず、人的な配置と導線・各課横断的な仕事が増えているので、これからも協議していく。

久米にもほしい公衆トイレ



坂口 幸法 議員



質問 現在までの県との協議は。
副町長 29年12月より13回行っている。

Q 耐力度調査の結果は

A 現時点では採択要件は満たさない



耐力度調査を実施した中学校校舎

質問 中学校耐力度調査の結果を踏まえた、次年度の中学校に関する予算編成は。
今井教育振興課長 今回の結果は、現時点では国の交付金事業の採択要件は満たさないが、32年度以降の交付金事業の採択要件は満たす。予算請求については県教委の移転決定を待っている状況である。

Q 消費税の軽減率制度は

A ホームページで対応

質問 2019年10月から消費税10%引き上げに伴う軽減率制度の導入が予定され、報道等によると、対象品目の線引きが難しい・減ってしまった税金の補填が未定・商品によって消費税率や軽減税率が変わることとで事業主の事務処理の負担は確実に増加する等、混乱が予想される。町民の生活に直結するものと思われるので、いざ導入されてから慌てないためにも理解しておく必要があると思うが、町民への周知は。



平川税務課長 対応は、ホームページに消費税の軽減税率制度についての国税庁特設サイトへのリンクを張っている。

Q 「同窓会」への補助金は
A 効果があれば

質問 定住人口の増加と地域経済の活性化を図るために、本町で開催される「同窓会」に係る経費の一部を助成する考えは。

松本総務課長 「同窓会」が定住人口の増加と地域経済に結びつくものであれば検討の余地はあるが、単なる同窓会が公益上必要かと考えた時、公金を支出するのは難しい。

質問 「同窓会」を本町の魅力・情勢等を宣伝する場または、関係人口の創出につながる絶好の機会として捉え、町執行部として各同窓会に出向き、様々な情報を発信・アピールする考えは。
町長 「同窓会」への招待があれば出席し、アピールしたい。

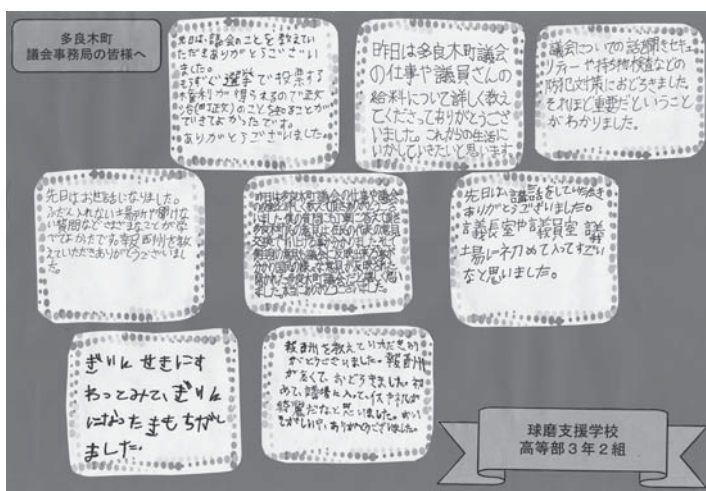
中学校新設延期・中学校耐力度調査はどうなった

中学校新築に伴う「現校舎の耐力度調査」の結果判明が平成30年度の「調査方法」の改定により10月上旬に予定されていたものがずれ込む事となった。

審査内容としては「構造耐力」・「健全度」・「立地条件」等が変更になり、昭和57年に立てられていた校舎にもかかわらず、いわゆる「新耐震設計基準」に基づく校舎であることやその他の項目の結果から国の交付金事業（危険建物の改築）の採択要件を満たすことが出来ない事が判明した。

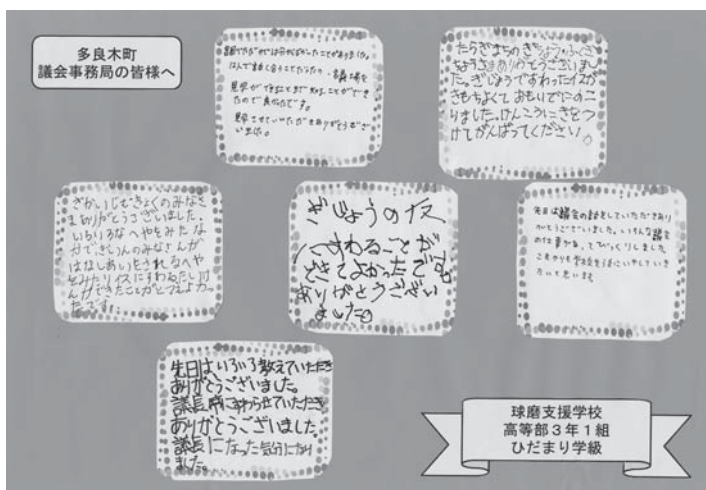
2020年には、高校跡地に新築開校を目指していたが同年以降に新設する場合には「特例対象」となり、予算面で数億円の違いがあるため町の財政に負担感が無いように、また県の方針の方向性確定の遅れとの関係もあり延期する方針を執行部が示した。

支援学校！授業の一環で議会を勉強



球磨支援学校高等部3年生14人が総合学習の授業の一環で「町議会と議員」の仕事についての訪問があった。

地域の政治に対する関心を高めることが目的で、お金の使い道や町の決まり事を議会で話し合い決めることを学んでいた。生徒からは議員の選出や報酬について、また姉妹町の南幌町との交流に対する質問があった。そして本会議場など見学をし、議長席や議員席などに座ってもらい大変喜ばれた。



議会改革！「小さな離島の町の大きな挑戦」

講師 長崎県小値賀町議会議長 立石 隆 教 氏

町の幸福のためには町民と共に歩む議会が必要

議会が活躍しないで町の発展はない！ と始まった

改革は平成の大合併への問題提起から始まり、その是非を問う住民投票の実施、その流れの中から議会の重要な役割を認識し、慣例にとらわれない議会の在り方と立ち位置を意識した真の活力ある議会へ歩み出し、平成23年議会改革の本格的取り組みへと動いた。そして、平成28年6月議会基本条例を制定した。

議会改革への3つの方針

1. 能動的に行動する議会へ

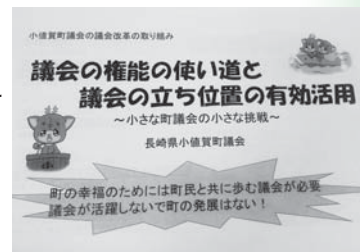
… 積極的な協議会・勉強会・委員会の開催と国・県・事業者への働きかけ

2. 町民と共に歩む議会へ

… 模擬公聴会・出前議会・子ども議会・議会モニターの設置

3. 施策を提言する議会へ

… 議会版総合計画の策定（住民と共に）・政策研究会の開催



求められる
議会の役割

1. 適正に政策を決定する
2. 恒常的な執行の監視・評価
3. 政策を立案する
4. 政策を提案する

求められる
議会の考え方

1. 地方自治は議会と首長との「善政競争意識」を中心に
2. 議会の権能は、町民のため・町の発展のために直接的に

★大合併という町を揺るがす課題を機に、議会が改革へと動き出した。私自身、様々な葛藤の中での議会活動であるが、小値賀町議会の、視野を最大限に広げる努力と組織の育成を同時進行で成し遂げてくれたパワーに感動し、臨んでいく事への勇気をも頂けた。

「町の発展の為に」という共通認識を投げかけられた素晴らしい研修であった。

文責 高橋 裕子

英語に慣れ、楽しく学ぼう！！

「オンライン英会話」授業（黒小）… 議会が参観

黒肥地小学校で導入されたインターネットを通じての、外国人と英語だけで会話する6年生「オンライン英会話」授業を参観した。県内初の導入で熊本大学附属小との研究協定を結び、指導援助も受けている。

当日は、児童がマイク付きヘッドフォンを着け、パソコン画面に映るフィリピン講師とあいさつを交わし、これまでに学んだ英語を使い、自分が行って見たい国や日本の名所などを紹介した。学生時代10年近くも英語に接しながら、英会話もろくにできない自分からすると、活発に会話する児童たちに英語に親しむ環境を提供してやることで、英語能力が確かに向上しているとの感を強くした。

その後の意見交換会では、「基礎になる読み、書きの定着をどのように充実させるのか」「中学校ではどのように継続されるのか」「黒肥地小学校だけでなく、久米小や多良木小にも広げるべきではないか」などの意見が出た。

教育委員会は次年度で小中学校の主要教科（国語、算数、数学、英語・外国語活動）の学力向上を図るための計画を作成しており、さらなる向上が期待できる。



文責 久保田 武治

How are you ?

ぼんやりと 初夢は「日本一」の 富士山

豆ちいさ

選挙の「三ない運動」知っとんな



多良男

いよいよ今年は「統一選挙」バイ。

じゃっとたい、あんたも「選挙好き」じゃって燃えとっと。

へへへおいも、あん人ば応援せんばんとたい。

じゃー気を付けないう「三ない運動」で知っとんナ。

あの一、きれいか政治、お金んかからん政治のため
「贈らない・求めない・受け取らない」たい。

そらーそぎゃんタイ。
おらーそぎゃん事はせんバイ。

政治家が人に「金や物」ば贈ったり、有権者が
「寄付や贈り物」ば、ねだったりすつとそいは
「選挙違反」になるバイ。

知っとる、知っとる、今どん選挙は18歳のもんも
すつてナーおいどんが教えてやらんばんなー。

じゃっとたい、大人がしっかいせんば
「選挙運動は選挙期間中だけ」じゃつてナ。
そん前は「事前運動」になつてナ。

は？じゃーそん前は
どぎゃんすれば良かとナ？

そらナ「政治活動」は出来つとたい。

「政治活動」てな、難しかナー。

選挙期間中の「戸別訪問はダメ」ばつてん
投票依頼の「電話作戦」はOKじゃつてナ。
しっかり勉強して候補者のため、うんにゃ町の
ために頑張つてやっバイ。

じゃんナ、ちーと勉強してやっバイ。



球磨雄



広報特別委員会構成

◎山中 馨 久保田武治
○高橋 裕子 宇佐 信行
林田 俊策 豊永 好人

編集後記

一期四年目、我が広報委員会の最後の編集後記となった。なんと「早いことだろう」と感じている。昨年は県の町村議会広報コンクールにて見事「入選」を果たしメンバー一同と大喜びであった。またこれまで私が担当していた「豆ちしき」も審査員から「町民にわかりやすい」との評価を受け努力が報われたと思っている。今年はいよいよ「統一地方選挙」議員一同任期満了まで自らの「議会活動」を地に足をしっかりと着け全うしようと誓い、筆を納めることにしたい。

(文責 林田俊策)